



# 日本マーケティング・サイエンス学会

## 第 110 回研究大会プログラム

オンライン開催

(大会実行委員長：星野崇宏 慶應義塾大学)

12月4日(土)

プロジェクト研究報告	Aトラック
プロジェクト研究報告	Bトラック
JIMS インタラクティブセッション	Cトラック

12月5日(日)

プロジェクト研究報告	Aトラック
プロジェクト研究報告	Bトラック

\*参加お申し込みは、ホームページ [www.jims.gr.jp/](http://www.jims.gr.jp/) 研究大会/  
「JIMS 研究大会 参加登録 (会員用)」からお願い申し上げます。  
締め切りは 11月19日(金) とさせていただきます。

*Japan Institute of Marketing Science*

<http://www.jims.gr.jp>

第1日 12月4日 (土)

プロジェクト研究報告 Aトラック

セッションチェア	東京大学 阿部誠	12:00-13:15
プロジェクト報告A1	<b>消費者・市場反応の科学的研究部会</b>	12:00-12:35
研究概要	東京大学 阿部誠	
研究報告	名古屋大学 山口景子 株式会社ギックス 山田洋 藤田哲文 花谷慎太郎	
テーマ	宣言型キャンペーンは買い物行動を変化させるか？フィールド実験によるキャンペーン効果の検証	
コメント	千葉大学 佐藤栄作	
プロジェクト報告A2	<b>ID-POSデータのマーケティング活用研究部会</b>	12:40-13:15
研究概要	千葉大学 佐藤栄作	
研究報告	千葉大学大学院 連浩廷 千葉大学 佐藤栄作	
テーマ	消費者のスーパーマーケット利用店舗数とその影響要因	
コメント	名古屋大学 山口景子	

休憩

13:55-14:10

JIMSインタラクティブセッション Cトラック

セッションチェア	筑波大学 西尾チヅル	14:10-16:00
	JIMS I.S.参加者研究概要発表 (Cトラック会場)	14:10-14:35
	JIMS I.S. ポスター発表	14:40-16:00

休憩

16:00-16:30

プロジェクト研究報告 Aトラック

セッションチェア	東北大学 照井伸彦	16:30-17:45
プロジェクト報告A4	<b>マーケティングの統計的モデリング研究部会</b>	16:30-17:05
研究概要	筑波大学 伴正隆	
研究報告	筑波大学 五十嵐未来 University of Maryland Kunpeng Zhang P. K. Kannan 東北大学 照井伸彦	
テーマ	ソーシャルメディア上の社会的影響力を考慮した動的トピックモデルによるコンテンツ推薦	
コメント	慶應義塾大学 里村卓也	
プロジェクト報告A5	<b>消費者行動とマーケティング意思決定の研究部会</b>	17:10-17:45
研究概要	慶應義塾大学 里村卓也	
研究報告	慶應義塾大学 里村卓也	
テーマ	多変量ロジットモデルを利用した同一カテゴリ内での補完/代替関係の把握：サブスクリプションサービスの市場構造分析への適用	
コメント	筑波大学 伴正隆	

休憩

17:45-17:50

JIMSベストステューデント賞結果発表

17:50-17:55

第1日 12月4日 (土)

プロジェクト研究報告 Bトラック

セッションチェア	慶應義塾大学 井上哲浩	12:00-13:55
プロジェクト報告B1	<b>市場に関する研究部会</b>	12:00-12:35
研究概要	慶應義塾大学 井上哲浩	
研究報告	関西学院大学大学院 石田真貴 関西学院大学 西本章宏	
テーマ	新製品のアップグレードが消費者の心理的所有感に及ぼす影響	
コメント	大阪大学 勝又壮太郎	
プロジェクト報告B2	<b>マーケティングのデータ分析とモデリング・アプローチ研究部会</b>	12:40-13:15
研究概要	大阪大学 ウィラワン ドニ ダハナ	
研究報告	大阪大学大学院 清水千華 大阪大学 勝又壮太郎	
テーマ	エンプロイヤー・ブランディングと企業の戦略志向性	
コメント	関西学院大学 西本章宏	
プロジェクト報告B3	<b>マーケティングにおけるイノベーションとコミュニケーションの研究部会</b>	13:20-13:55
研究概要	慶應義塾大学 濱岡豊	
研究報告	丸の内ブランドフォーラム 片平秀貴	
テーマ	ブランド生態系分析：商品領域を横断する好感の測定	
コメント	慶應義塾大学 井上哲浩	

休憩

13:55-14:10

JIMSインタラクティブセッションはCトラック会場です。

休憩

16:00-16:30

プロジェクト研究報告 Bトラック

セッションチェア	大阪大学 勝又壮太郎	16:30-17:45
プロジェクト報告B4	<b>コンテンツ&amp;キャラクター・マーケティング研究部会</b>	16:30-17:05
研究概要	大阪府立大学 荒木長照	
研究報告	法政大学大学院 野澤智行	
テーマ	続々・withコロナ時代のご当地キャラ活用価値－SEMによる地域内外での比較－	
コメント	大阪府立大学 中山雄司	
プロジェクト報告B5	<b>学実ブリッジ・フェーズ3部会</b>	17:10-17:45
研究概要	(株) KSP-SP 山中正彦	
研究報告	(株) KSP-SP 山中正彦 (株) コーガ解析コンサルティング 石田泰浩	
テーマ	定量と定性の統合分析による成功するマーケティング・ミックス	
コメント	法政大学 長谷川翔平	

休憩

17:45-17:50

JIMSベストステューデント賞結果発表はAトラック会場です。

第2日 12月5日 (日)

プロジェクト研究報告 Aトラック

セッションチェア	慶應義塾大学 星野崇宏	9:30-10:45
プロジェクト報告A6	<b>新しいデータと競争環境の下でのマーケティングサイエンス研究部会</b>	9:30-10:05
研究概要	慶應義塾大学 星野崇宏	
研究報告	名城大学 中川宏道 慶應義塾大学 星野崇宏 神戸大学経済経営研究所 加藤諒	
テーマ	値引きは美德カテゴリーよりも悪徳カテゴリーの方が効果的か？	
コメント	東京理科大学 大西浩志	
プロジェクト報告A7	<b>コンテンツとコミュニケーション研究部会</b>	10:10-10:45
研究概要	産業能率大学 小野田哲弥	
研究報告	株式会社ローソンエンタテインメント 辻忠恭	
テーマ	ユーザーの購買行動をもとにした購入予測モデルに関する一考察 -特定の条件下における2回目購入の予測-	
コメント	慶應義塾大学 山本品	
<b>休憩</b>		10:45-11:00
セッションチェア	明治大学 水野誠	11:00-12:55
プロジェクト報告A8	<b>分析的マーケティング研究部会</b>	11:00-11:35
研究概要	明治大学 水野誠	
研究報告	New York University 石原昌和 Syracuse University Minjung Kwon	
テーマ	「期間限定」製品はなぜ購入されるのか？—購買履歴データの離散-連続選択モデルによる分析	
コメント	横浜国立大学 本橋永至	
プロジェクト報告A9	<b>Webコミュニケーション・データのマーケティング活用研究部会</b>	11:40-12:15
研究概要	横浜国立大学 鶴見裕之	
研究報告	CCCマーケティング株式会社 若鶴優 中岸恵実子 佐藤伸 横浜国立大学 寺本高 鶴見裕之 本橋永至	
テーマ	モバイルクーポン・データを用いた店舗トライアル顧客の行動分析	
コメント	大阪大学 ウィラワン ドニ ダハナ	
プロジェクト報告A10	<b>顧客データからの深い知見発見プロジェクト研究部会</b>	12:20-12:55
研究概要	慶應義塾大学 清水聡	
研究報告	スマート・アナリティクス社 畠慎一郎 慶應義塾大学 清水聡	
テーマ	レシートデータの分析—新しいデータの可能性について—	
コメント	横浜国立大学 鶴見裕之	

第2日 12月5日 (日)

プロジェクト研究報告 Bトラック

セッションチェア	慶應義塾大学 里村卓也	9:30-10:45
プロジェクト報告B6	<b>市場予測のための消費者行動分析研究部会</b>	9:30-10:05
研究概要	大阪府立大学 中山雄司	
研究報告	桃山学院大学 辻本法子	
テーマ	訪日中国人旅行者のポスト・コロナの観光意向—観光地の魅力の差異について—	
コメント	株式会社電通 高橋一樹	
プロジェクト報告B7	<b>東アジアの消費者行動とマーケティング戦略研究部会</b>	10:10-10:45
研究概要	一橋大学 上原渉	
研究報告	成城大学 金春姫 一橋大学 鎌田裕美	
テーマ	日本における外国文化受容と消費者行動に関する実証的考察	
コメント	明治学院大学 斉藤嘉一	
<b>休憩</b>		10:45-11:00
セッションチェア	早稲田大学 守口剛	11:00-12:55
プロジェクト報告B8	<b>消費者行動の学際的研究部会</b>	11:00-11:35
研究概要	早稲田大学 守口剛	
研究報告	横浜市立大学 上田雅夫 武部貴則 西井正造	
テーマ	幸福を実現するenabling factorの探索	
コメント	筑波大学 西尾チヅル	
プロジェクト報告B9	<b>社会問題とコミュニケーション研究部会</b>	11:40-12:15
研究概要	筑波大学 西尾チヅル	
研究報告	筑波大学大学院 水師裕 筑波大学 西尾チヅル	
テーマ	慈善寄付におけるパブリック・リコグニションの調整効果に関する探索的検討	
コメント	中央大学 熊倉広志	
プロジェクト報告B10	<b>ブランドマネジメント研究部会</b>	12:20-12:55
研究概要	法政大学大学院 豊田裕貴	
研究報告	法政大学大学院 豊田裕貴	
テーマ	選択行動における多元結合因果へのアプローチ:QCAとコンジョイント分析の比較	
コメント	早稲田大学 守口剛	



# 日本マーケティング・サイエンス学会

## 第110回研究大会

### JIMSインタラクティブセッション

2021年12月4日（土）14時10分～16時00分（オンライン）

#### 大学院生の部

G01 東京理科大学大学院 原健太 東京理科大学 朝日弓未

新車顧客と中古車顧客における購買行動

G02 中央大学大学院 北嶋弓月 東海大学 大竹恒平 中央大学 生田目崇

ブランドを対象としたTwitter上の消費者ネットワーク構造の評価

G03 東海大学大学院 近藤大

観客動員数の制限による影響と収入の可視化

#### 学部生の部

U01 大阪経済法科大学 間嶋葵 鳥谷怜那

若者におけるレジャー行動の変化と車離れ—ドライブ空間における性別役割分業崩壊仮説

U02 富山大学 瀬在理沙 高平聖美 住田瞭

昆虫食に対する抵抗感に影響を及ぼす要因の解明

U03 明治大学 大和恭子 恩田一成 鈴木樹奈 荻原郁佳 山本梨沙子

サンリオのキャラクター戦略における公式ツイートの役割に関する計量分析

U04 名古屋大学 俣野莉歩

クラシック音楽の調性が消費者行動へ与える影響

U05 名古屋大学 沖汐はるか

新型コロナウイルス感染症の流行とタバコ消費行動の変化—喫煙動機との関連性について—

U06 名古屋大学 金光志穂

個人の性役割に対する価値観及び多様性適応度と企業広告におけるジェンダーの表現方法との関連性について

U07 名古屋大学 富田遼介

商品パッケージにおける情報の表示形式が消費者の購買意欲に及ぼす影響の研究

U08 慶應義塾大学 増田夏樹

良いカニバリゼーションは存在するか？購買履歴データを用いた分析

U09 慶應義塾大学 江守凌平

Clumpiness指標を用いた顧客生涯価値の予測について

U10 東京理科大学 下田琴美 石井佑果 中村高太郎 米田弥生

商業施設における来場者の買い物行動を活用した効果的な認知獲得方法の研究

U11 東京理科大学 高梨宏斗 山崎航平 山中里緒

サッカー選手のInstagram個人アカウントのサポーター獲得を目的とした運用に関する検討